

## 四国中央支部

### 1 情報教育機器の整備と運用

一昨年度、学校ICT環境整備事業により、以下の情報機器が整備された。

- ・ 教職員 1 人 1 台の校務用ノートパソコン
- ・ 職員室にレーザープリンタ 1 台
- ・ 校内LAN
- ・ 各校 1 台の電子黒板

さらに、校務用ネットワークを構築し、市教育委員会や市内の小・中学校からアクセスできる共有フォルダを設けた。

昨年度はネットワークの活用がさらに進み、各教科部会や市内の行事等に有効に活用されている。

### 2 情報教育研修

各校それぞれに、実態に応じた研修を行った。四国中央市立三島南中学校では、次のような研修を行った。

(1) 日時 平成23年11月24日

(2) 場所 四国中央市立三島南中学校 みなみ4教室

(3) 内容

ア 学校におけるICTの活用について

教育の情報化についての基本的な考え方の講義を聞き、ICT活用について研修を行った。

イ ICT機器の種類と特性

様々なICT機器があることを知り、また、それらのICT機器の接続方法や活用場面について研修を行った。

ウ ICTを活用した教材作成の基本的な考え方

ICTを活用したデジタル教材を自作する方法とデジタル教材作成上の留意点を研修した。コンピュータでは、デジタル教材を実際に作成した。

エ プレゼンテーションソフトを使った自作教材作成（実習）

プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使って実習を行った。PowerPointの基本操作を研修し、デジタル教材をプレゼンテーションする実習を行った。

オ ICT機器の使い方（実習）

実物投影机、DVDプレイヤーをプロジェクタに、コンピュータを電子黒板につなぎ、実際に操作した。コンピュータでは、自分で作ったデジタル教材をプレゼンテーションする実習を行った。

カ 校内授業研究

ICT機器を使った授業研究を行い、ICTの活用場面はどうだったか、ICT機器を活用することで教育を向上させられたか、学習のねらいは達成できたかを柱として協議した。

### 3 成果と課題

(1) 生徒の学習成果発表等で、プレゼンテーションソフトを使った発表が行えた。

(2) 授業の中で、ICT機器を活用することができた。

(3) 教職員、生徒と共にパソコンの使用頻度が高くなり、USBメモリ等の外部記憶媒体の使用率も高くなった。それに伴い、セキュリティ上の危険が高まったので、セキュリティ対策を強化するとともに、管理規定をはじめ管理体制の見直しが必要である。

(4) ICT機器が不足している。ICT機器やパソコン教室等の施設設備を充実させるとともに使用計画を綿密に立てる必要がある。

(5) デジタルコンテンツが不足しており、自作するにしても方法がわからなかったり時間がなかったり等の理由で、ICTの活用は一部の者に限られている。デジタルコンテンツを充実させるとともに、研修を深め簡単に機器やソフトが使えるようICT活用指導力を向上させなければならない。